



『失敗の本質 日本軍の組織論的研究』

食物栄養専攻 教授 梶谷 宇

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という格言は、経験的学習と歴史的学習の相対的な価値を強調している。自ら試行錯誤し、失敗または成功を経て初めて知識を得るというアプローチは、成長の速度と質において制限される。しかし、歴史、すなわち、先人たちが残してきた豊富な事例を精査することで、不必要な失敗を回避し、過去の事例を上回る革新的な方法を考案し、より迅速かつ大幅な成長を実現することが可能となる。

さて、この「歴史から学ぶ」というテーマについては、膨大な数の書籍が出版されており、本学図書館にも多数所蔵されていることから、皆さんの利用機会は多いのではないかと思います。しかしながら、その多くは「〇〇すれば成功する(した)」といった類のもので、成功事例に焦点を当てており、「失敗事例から学ぶ」という視点に立った書籍は比較的少ないのではないかと。だが、先人が残した失敗事例こそ、本当の意味での宝の山、学びの宝庫であるのに、触れる機会がなかなか得られず、残念に感じておられる方々も少なからずいるのではと考える。

本書は、太平洋戦争における敗北という、日本の国としての失敗事例に焦点を当て、諸分野の専門家による学際的な分析結果を提示している。国力差の著しいアメリカとの戦争開始が無謀であったというそもそも論ではなく、戦争中の各作戦について詳細な経過を解説し、作戦における敗因が組織としての杜撰さ、すなわち、失敗の隠蔽を含む情報共有の不備、及び、失敗から学ぶ姿勢の欠如に基づく楽観的な戦略立案にあることを、客観的な事実に基づき論じている。その上で、その「失敗の本質」は今なお、企業など多くの日本国内の組織内に「文化」として蔓延り続けていることを指摘し、本書で示した多くの事例を反面教師として組織運営に活用していくよう提言している。

本書の初版は1984年、すでに40年以上前のことであるが、40年後の現在、上述したような「日本的組織における文化」が改まったかという点、疑問が残るのではないだろうか。だからこそ現在でも、本書の教訓を活かして行動することは、一歩先んじた優れたリーダーシップを発揮することにつながり、また、組織ではなく個人としての生き方の中における、さまざまな意思決定プロセスの際にも多くのヒントを与えてくれるだろう。

「日本軍」とタイトルにあるが、決して「ミリオタ」のための本ではなく、極めて優れたビジネス書として、40年以上高い評価を獲得し続けている一冊なので、一読をおすすめしたい。



『失敗の本質』

日本軍の組織論的研究』

戸部良一／寺本義也／

鎌田伸一／杉之尾孝生／

村井友秀／野中郁次郎 著

中公文庫(中央公論新社)

請求記号：391.3/Sh79

『学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか』

福祉こども専攻 教授 和崎 光太郎

みなさんにとっての大学って、一言で表すと何でしょうか。「資格をとるために行くところ」、「就職するのに学歴があったほうがいいから行くところ」、「友だちに会いに行くところ」、「なんとなく成長できるから行くところ」、など様々でしょう。

ただ、大学生となったみなさんは、学校は「退屈」ではないと思います（授業は「退屈」かもですが）。というのは、高校生までのように朝礼や終礼、掃除の時間、みんなそろっての昼食など、授業外の社会化装置（＝社会で必要だとされていることの訓練をする装置）が大学にはほとんど無いからです。大学は、退屈ならスマホでも触っていたらいいんですよ。

この本は、若い人たち（概ね大学生くらいまで）に学校の大切さに気付いてほしい、学校関係者に自分たちがやっている仕事の意味を知ってほしいという著者（広田さん）の切実な願いが込められて書かれました。読んでいてその切実さがヒシヒシと伝わってきます。

学校って、ほんと不思議なんですよ。誰でも知っているのに、学校が果たしている役割や機能ってとんでもなく色々あり、その全貌を理解している人が立派な学者も含めて誰もいない。これは私も学者の端くれとして断言できます。学校は、超有名だけど、その全貌を知っている人が誰もいないのです。そんな学校について、本書はとてもおもしろく、「なるほどな！」と思うことがたくさん書いてあります。「道徳」「平等」「AI」「自分探し」といったことも学校（ただし学校というか教育の話がほとんどですが）とからめて話が進みます。学校にあまり良い思い出が無い人に、特におすすめですよ。



『学校はなぜ退屈で
なぜ大切なのか』

広田 照幸著

ちくまプリマー新書
(筑摩書房)

請求記号：370/H74-2



■蔵書点検にともなう休館のお知らせ■



休館期間：2月16日(月)～19日(木)、24日(火)

20日(金)、21日(土)は貸出・閲覧はできません。返却のみとなります。
貸出期限が過ぎている資料は2月13日(金)までにご返却ください。



Library News No.52 桜の聖母短期大学図書館情報センター

https://www.sakuranoseibo.jp/library_information_center/

*図書館ホームページにて Library News のバックナンバーを公開中です！
新着図書などもご覧いただけます。

HP も
見てね♪

